

意見書案第6号

予防接種の円滑な実施を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり提出します。

令和元年12月20日

羽曳野市議会

議長 金銅宏親 殿

提出者

羽曳野市議会議員

笠原 由美子

笹井 喜世子

竹本 真琴

樽井 佳代子

松村 尚子

予防接種の円滑な実施を求める意見書

予防接種は国民の生命と健康を守る重要な事業である。特に子どもの予防接種は時代を担う子どもたちを感染症から守り、健やかな育ちを支える重要な役割を果たしている。

この度、乳幼児の重い胃腸炎の原因になるロタウイルスのワクチンについて厚生労働省の部会では定期接種の対象とすることを固めたことは評価できる。

予防接種が定期接種となった場合は、一部が市区町村の負担とされており、すでに定期接種化されているものも含め、すべての接種費用を市区町村が負担することは非常に困難な状況となっているのも事実である。安全かつ安定的な予防接種を継続するためには、国が責任を持って実施に必要な財源を確保することが不可欠である。

よって、政府に対し下記事項についての対応を強く求める。

記

1. 予防接種の定期接種について、自治体の財政基盤や被接種者の経済状況によらず、希望する対象者がすべて接種できるよう既存の予防接種も含め国の責任において財源を地方交付税によらず全額保障すること。
2. ワクチンの安定供給対策を十分に講じるとともに、諸外国に比べワクチン価格が全体的に高額であることから、適正な価格設定となるよう取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和元年12月20日

大阪府羽曳野市議会

内閣総理大臣
財 務 大 臣
厚生労働大臣 各宛